

令和5年9月号 No.153 (2023年)

みんなで支えあう 心ふれあう やすらぎのまち



# 社協かしわら

編集発行 社会福祉法人 柏原市社会福祉協議会 〒582-0018 柏原市大県4-15-35 健康福祉センター内

TEL 072-972-6786

FAX 072-970-3200

ホームページ

<https://kashiwara-shakyo.jp/>

メールアドレス

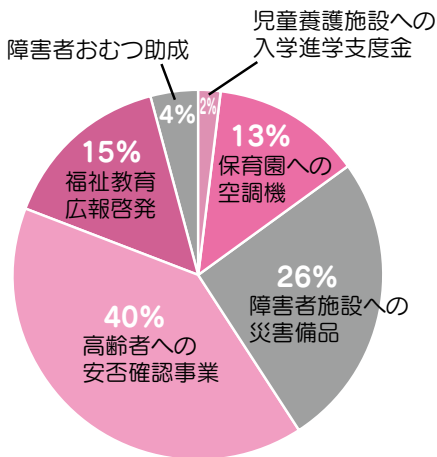
[soumu@kashiwara-shakyo.jp](mailto:soumu@kashiwara-shakyo.jp)



「ほのほのちゃん」



こちらどうぞ



共同募金の使いみち (令和4年度)

「じぶんの町を良くするしくみ」として取り組まれている赤い羽根共同募金運動は、毎年10月1日～12月31日まで実施されています。

柏原市では、区長会や民生・児童委員協議会、柏原市ボランティア連絡会など様々な団体からのご協力を頂き、ご支援より集まった寄付金が様々な福祉活動等に役立てられています。今年も、赤い羽根共同募金運動へのご支援よろしくお願いいたします。

## 困ったときはおたがいさま 「赤い羽根共同募金運動が始まります」



「まどか保育園では、0歳児から5歳児までの131名の児童をお預かりし、子どもたちの健やかな成長を援助するため、毎月様々な行事を実施しております。その中で、3歳児教室と4歳児教室のエアコン機器の老朽化により、故障が続き、その都度、



まどか保育園の先生たち

今回、様々な福祉活動の中で、赤い羽根共同募金の助成金を活用された「まどか保育園」の田口園長にお話を聞かせて頂きました。



クーラーが設置された部屋で遊ぶ園児たち



修理をしていましたが、修理に時間がかかるなど、保育活動に支障をきたす状況で頭を悩ましていました。

そこで、赤い羽根共同募金の助成金で、今年の6月にエアコン2台を設置することが出来ました。

この夏も、子供たちの熱中症と感染症を同時に対策できるよう換気を行いながらの活動となるため非常に助かりました。

「困ったときにおたがいさま」と支えあえる共同募金の運動は柏原市の福祉活動になくてはならない取り組みだと思えます。」

# 認知症を正しく理解し、 支えあえる地域づくり 〜認知症啓発月間〜

9月は認知症啓発月間です。認知症のことを正しく理解し、安心して支えあえる地域づくりを目指して、私たちが日々行っている活動についてご紹介いたします。

## ○認知症カフェ

月1〜2回認知症の人とそのご家族、地域住民の方を対象と

した認知症カフェを市内各所で開催しています。コロナで一時的に休止や時間短縮を余儀なくされることがありましたが、徐々に活動も再開しています。7月から新たに「認知症カフェHELLO」が誕生しました。最寄りのカフェにぜひ一度お越しください。

「カフェほのぼの」で活躍中の介護予防サポーターズ、関西福祉科学大学福科大オレンジプロジェクトの皆さん



「カフェほのぼの」に出演中のボランティアグループ「きらきら団」の皆さん



## 認知症カフェ一覧

名称	住所・場所	開催日
カフェほのぼの	国分本町4-6-22 東町老人会館	第1水曜・第3日曜 13時～15時45分
ここかしカフェ	堂島町2-14 グループホーム ここから柏原	第4火曜 14時～15時
コイノニア カフェ	旭ヶ丘3-2-3 旭ヶ丘コイノニア ガーデン	(休止中)
R (立教館) カフェ	旭ヶ丘3-11-1 関西福祉科学大学内 立教館	第2日曜 13時～15時
認知症カフェ HELLO	太平寺1-8-3 グランホームハロー内	第3金曜(不定期) 13時30分～15時

**○認知症家族介護者の会「いどばた」**  
認知症の方の介護をしているご家族を対象として毎月第2火曜日14時から15時にふれあい館オガタで活動しています。介護をしていると自分の事は後回しになりがちです。少しの時間ですが、お茶を飲みながらお話しに來ませんか。予約は不要なので、当日ふれあい館オガタへお越しください。

**○認知症サポーター医による物忘れ相談会**  
医師による物忘れ相談会を年3回実施しています(予約制)。「物忘れが出てきて心配」「家族

に物忘れが出てきた」「どうやってお医者さんに相談したらいいの」など、個別の内容について認知症サポーター医の医師に直接相談できる機会です。9月27日、2月(日程調整中)に開催予定。詳しくは当該月の広報かしわらをご確認ください。

## ○認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、温かく見守る。認知症に関する基礎知識やかかり方について学ぶ講座です。小学校や大学、地域のサロン、企業よりご依頼を受け、随時講師派遣をいたします。講座ご希望の場合は気軽にお声がけください。受講終了者にはオレンジリングをお渡ししております。

※オレンジリングとは、認知症のことを正しく理解し、温かく見守る「応援団」の証。認知症サポーター養成講座を受講した方に付与されるものです。



## △お問い合わせ▽

柏原市高齢者いきいき元気センター  
(地域包括支援センター)  
電話：970-3100  
FAX：970-3200



# CLOSE UP! 社協職員

西村 礼華 (にしむら あやか)

当法人で活躍している職員や  
担当業務について紹介します。



地域福祉係所属  
西村 礼華

社協に入った  
きっかけは？



前職で出会ったボランティア  
団体をきっかけに地域福祉活動  
にはどんな活動があるのか興味  
を持ち社協へ入職して4年目と  
なりました。入職後はボラン  
ティア市民活動センターの事務  
局やコミュニティソーシャル  
ワーカー(CSW)として、地  
域活動の支援や相談支援などを  
担当してきました。

今はどんな業務を  
しているの？



現在は、地区福祉委員会の事  
務局を担当しています。地区福



社委員会は、高齢者等、様々な  
福祉問題を抱えている当事者・  
住民が地域で自立して生活でき  
る福祉の町づくりの実現を目指  
す、地域住民の自主的な組織で  
す。具体的な事業は、高齢者へ  
の安否確認の活動や、サロン活  
動の運営などを実施しており、  
この活動は住民賛助会費を主な  
財源としています。私は、地区  
福祉委員の方と共に参加しやす  
いサロンの企画調整や円滑に安  
否確認活動を行えるよう後方支  
援などの業務を行っています。  
日々業務に取り組む中で、地域  
の方や地区福祉委員の方から  
「ありがとう」とお礼の言葉を  
頂けたときには大きなやりがい  
を感じています。

## 地区福祉委員会の主な事業

### 友愛訪問

- 65歳以上の希望される対象者の方を訪問し、安否確認と孤独感の緩和を図ることを目的に実施する活動

### ふれあいサロン

- 地域の高齢者や住民が中心となって運営する高齢者のための集いの場所

### 子育てサロン

- 子ども同士を遊ばせたり、親子で遊んだりしながら、子育てに関する情報の交換、親同士の交流で気持ちをリフレッシュできる場所

### 世代間交流

- 世代の異なる人が相互に交流し、互いの生活文化や価値観を深めるために行われる活動

### ひとり暮らし老人の会

- 孤独に悩むことなく、お互いに助け合い励ましあって共に健康で明るく楽しい生活を送ることを目的とした集まりのこと

これから取り組み  
たいことは？



新型コロナウイルスで止まっ  
てしまった地域福祉活動を再開  
できるように整え、柏原市の地  
域福祉活動がより充実するよ  
う、地区の現状に合わせた活動  
の実施や地域福祉の新しい活動  
を地区福祉委員の方と一緒に  
チャレンジしていきたいです。

### 住民賛助会費とは？

地区福祉委員会の活動を行うために会費制度を設けて地域住民の皆様にご協力いただいています。地域福祉活動に直接参加できなくても、会費(一口200円)を納めていただくことにより“住民同士の支え合い”への参加に繋がります。

問合せ：972-6786(総務係)

